



ペンペン草



塩尻要約筆記グループ機関紙 68 号 : 2023 年 3 月

今年度ギリギリの発行になってしまいました。
2022 年度のペンペン草の機関紙です。



S さんを偲んで…

手書き班 S

昨年（2022 年）暮れ、塩尻市の S さんがご逝去されました。享年 84 歳。
1 月に突然訃報を聞き、驚きとともに、まだ早い、残念、という思いが頭を巡りました。しかも、12 月 22 日に亡くなられていたとは全く知らずにいて、秋の講座以来お会いしていなかったことや 最近はメールのやりとりすらしていなかったことを、今更ながら悔やみました。後日ペンペン草の数名でお線香をあげに伺い、遺影に手を合わせてきましたが、背広姿の S さんは、今にも教壇に立たれるような感じでした。

そう、S さんは長く高校の教師をされていて、中途失聴になられてからも、英語から数学に教科を変えて学生を相手に奮闘されてこられたそうです。直接体験談をお聞きしたことのある方は皆、そのご努力に驚きと敬意を抱いたことと思います。当然、私も同様に、このことを少しでも多くの人に伝えたいと思い、塩尻市の要約筆記入門講座でご講演いただいたり、また、長野大学での情報保障の授業でもお話しいただきました。若い大学生を前に、S さんは目を輝かせて語りかけておられたのを思い出します。さすが先生！という印象でした。

S さんは要約筆記に出会ってからノートテイクを度々利用され、地域の役員の仕事も立派にこなされました。また、私たちペンペン草に対しては、期待と愛情をもって接してくださり、ご指導もいただきました。まだまだ一緒に前に進みたかったのに、本当に残念でなりません。ご冥福をお祈りします。

ペンペン草にとって S さんの存在はとても大きかったと思います。

私も S さんのおかげで、要約筆記の活動を続けてこられたという思いがあります。

ご自分の経験をもとに、要約筆記の役割を的確に伝えてくださる S さんと もうお会いできないなんて本当に残念です。（手書き班 H）

今年度もコロナウイルス感染症の影響はありましたが、状況を見ながら、難聴者の方々と交流をすることができました。



〇さんにお会いして

手書き班 N

市民タイムスにこんな記事が載りました。

〈聴覚障害者であることを知らせる表示グッズを考案した、みどり湖にお住いの〇さん（86歳） コロナ禍でマスク着用が当たり前となり、相手の口の動きで言葉の理解を補うことも難しくなっている中、コミュニケーションに役立つ品をと考えた。〉

この記事を見て、手書き班では〇さんにお会いして、実際にそのグッズをみたいということになりました。

コロナが落ち着いてからと思っているうちに、なかなか機会がなかったのですが、7月の例会にお招きし、交流することができました。

例会には、Sさんも来てくださり、にぎやかな会になりました。

OHC 通訳も見ていただくことができ、素晴らしい要約筆記に出会ったと言ってくださいました。

とてもお話し好きの方で、ご自分の生い立ちから人工内耳のお話など、たくさんしてくださいました。グッズの作成の経緯も聞きました。なかなか自分が思ったようにはできていないようで、まだまだ改善の余地があるそうです。

ペンペン草としても何か協力をと思いましたが、お金もかかる、グッズにするいい言葉がない、など、課題も多く、これからもう少し検討しなければという現状です。

〇さんはまだ要約筆記を利用していらっしゃるらないので、ぜひ利用していただきたいと思いましたが、急に利用することはやはり難しいようです。

要約筆記の啓発、利用の啓発はこれからのペンペン草の活動の課題ですね。

Sさんと〇さんが握手をする姿を見て感激しました。

2023年度もまたお呼びして・・・と思いましたが、Sさんが亡くなられてしまって残念です。



交流会、（ちょっと早いクリスマス交流会）

手書き班 M

11月16日 水曜日、総合文化センター 205 にて開催しました。

お茶会はできませんが、手軽にできるゲームで楽しい時間を過ごしたいと4つのゲームを用意しました。

- 1) 体でジャンケン。ウォーミングアップに全身を使って。ジャンケン強い人いるものですね。
- 2) 糸巻き、糸巻き。ラップの芯に毛糸を巻き付けて空の2本のペットボトル入りの箱を引き寄せます。ペットボトルを倒さないように速く引くのが意外に大変。
- 3) 紙コップ。お手玉キャッチ。紙コップから紙コップに手を使わずにお手玉をリレーします。これが結構大変。盛り上がりました。2回の予定が3回もやりました。
- 4) お料理材料ゲーム。親子丼、海鮮丼、カレーライス、すき焼き、のカードから一つ料理を選択。チームで食材カードを引き6種 早く集めたチームが勝ち。家では鶏肉よ、とか牛肉よ、なんてご意見いろいろ。（ちなみに私はカレーは豚肉）4つのゲームで動き回り暑くなりました。
- 5) ビンゴゲーム。例年通り1～30の数字で楽しみました。
景品はクリスマス仕様のラッピング、手書き班 K さんがアイデアいっぱいのプレゼントとお菓子を用意してくれました。

コロナ禍で思うように活動ができないけれど難聴者とペンペン草メンバーの繋がりを持ち続けたいと企画しました。皆さん楽しんでくれました。

今年度は参加者9名と少なかったけれど新年度は皆さんぜひ来てくださいね。

寒くなる前、11月に予定しています。童心に帰って笑えるっていいですよ。
会食会できることを願って報告にします。
ご協力ありがとうございました。



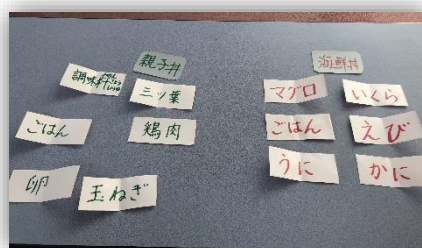
体でじゃんけん



紙コップ



糸巻き、糸巻き



お料理材料ゲーム

「ボランティアの集い」の通訳を振り返って

手書き班 H

コロナウイルス感染症の影響もあり、最近は大きな会場での手書き通訳の機会が減りました。久しぶりに大会場で開催された、「しおじりボランティアの集い」の通訳では、反省や疑問点が多々あり、通訳担当で反省点を出し合いました。

それらを踏まえて、手書きの学習会で、今後どのようなことに気を付けるべきかを話し合いました。また、歌詞の前ロールの書き方・引き方についても確認し合い、実際に前ロールを引く練習もしました。

「ボランティアの集い」の通訳での反省点

- ・通訳メンバーに、ボランティアの集い実行委員がいたので、リーダーを決めないまま進めてしまった。
- ・事前に通訳者で集まって、段取りを話し合わなかった。
- ・事前原稿がなかなか手に入らなかった。
- ・通訳に必要な機材や通訳場所などが、社協にしっかり伝わっていなかった。
- ・作成した歌詞の前ロールは、下線・行間が揃っておらず、見づらいものだった。
- ・前ロールの歌詞を流すとき、指棒の動かし方が難しかった。
- ・歌の間奏中に話が入り、要約筆記が難しかった。
- ・出演者の歌手に要約筆記がつくことが事前に伝わっておらず、前ロールの無い歌もあった。（手話通訳者に対応してもらった）

学習会で出た意見

- 主催者に、要約筆記についてしっかり説明する。
- 主催者との打ち合わせ、通訳者の打ち合わせは必ず行う。
- 主催者、講演者、手話通訳者、要約筆記者で事前に打ち合わせをする。
- 講演者、出演者に対して疑問点があれば、福祉課等を通して事前に確認をする。
- 通訳者は、原稿の有無、講演内容や出演者等を必ず把握しておく。
 - ※事前原稿は、全部完成していなくても、できたところから送ってもらうよう依頼する。
- 前ロールは行間シートを使用して、見やすいものを作成する。
- 歌詞の前ロールの流し方は、指棒で下線をなぞるように動かす。
- 「リーダーの仕事」一覧を作成する。

今回の「ボランティアの集い」の通訳は、歌の時間が長く、今まであまり経験がない現場でしたが、今回の反省を今後に生かしていきたいと思います。

また、事前の打ち合わせの大切さを実感しました。

今年度のパソコン班の活動報告です。



- 1) IPtalk の機能を使いこなせていないという話が昨年度出たため、今年度より勉強会の時に各月の担当者が IPtalk の機能を1つ紹介を行うようになりました。
これは現場通訳の時に必要な機能だけを利用していましたが、昨今の状況によりオンライン通訳に必要な機能について初めて知ったため、ほかの機能も知っておけばいつか利用できるときもあるのではとの判断によるものです。あとは、前ロール表示が「原稿前ロール」と「テンプレート前ロール」があり、要約筆記グループにより使用しているものが違うため、前ロールに限らず機能を知っておくとほかのグループとの協力もスムーズにいくのではとの思いもあります。
- 2) MIKA タイプというアプリを利用して、タイピング練習を勉強会の最初に行っております。タイピングの正確性や入力速度などを維持していくため。
- 3) 音源を利用した IPtalk での入力練習では、1人入力による要約して入力する練習を行い、2人入力では連携入力の練習を行います。ZOOMでのオンラインでの勉強会では IPtalk の機能である Webconnect を利用し、連携入力の練習を行います。これは現場での通訳と同じような感覚で入力ができるため、オンラインでの勉強会では基本 Webconnect を利用しております。音源は各担当者が YouTube などの動画サイトや CD の取り込みなど各自の感性により、見繕っております。講演会の音源などが多いです。
- 4) 息抜きも兼ねて、リモートお茶会を開催する月もあります。



私のお気に入り

手書き班 H

皆さんは、肩は凝りませんか？

姿勢が良くないからか、私はすぐに肩が凝ってしまいます。

その予防のため、パソコンを使うときなどは、ネックサポーター（首に巻くことで、首を支えて首への負担を軽減してくれます）をしたり、肩や頭が痛いと思ったら、ストレッチ用ポール（身体をのせて全身をほぐします）で身体を伸ばしたりしています。

そんな中でも、私がよく効くと感じ、気に入っているのは、「ネックリラックスピロー」という首枕です。首の下に置くと、首が伸びる感じがして気持ちがいいです。

ただし、最初は5分くらいから始めること。そして、慣れても30分以上は使用しないこと。長時間の使用はいけないようなので、この枕をしたまま寝てしまわないように注意です(^)



皆さんのお気に入りのものは何ですか？

またこの機関紙にも掲載していきますので、原稿をお寄せください。

よろしくお願いします。

《編集後記》

コロナウイルス感染症の発生から3年がたち、マスクの着用も緩和され、徐々にではありますが元の生活が戻ってきそうな感じになってきました。オンラインでの例会も便利で楽しいですが、やはり、たまには集まって話したり、一緒にご飯を食べたりするのは、より楽しいですね。

今年こそ、ペンペン草で飲み会などもできるといいなと楽しみにしています。

コロナの影響で思うように集まれないこともあり、機関紙の発行回数も減っていましたが、2023年はたくさん集まって、機関紙に掲載することをたくさん開催できればいいと思います。どんな記事を読みたいか、また皆さんのご意見をお聞かせください。

皆さんに、原稿をどんどん依頼しますので、今後ともご協力をどうぞよろしくお願いします。

（手書き班 H）